

## 平成28年度 人権教育講演会について

人権教育推進委員会

**趣旨** 人権意識の高揚をはかり、人権尊重の態度を育成することをめざして、全校生を対象に人権教育に関する講演会を実施する。本年度は、本校がユネスコスクールであることに関連して、多文化共生のあるべき姿について理解を深め、マイノリティに対する人権感覚の向上を図りたいと考え、下記の内容で講演会を実施する。

**日時** 平成28年12月20日(火) 2, 3校時

**場所** 本校体育館

**対象** 本校生徒 教職員 保護者(希望)

**演題** 「持続可能な社会を実現してきた先住民アイヌから学べること」(仮題)

**講師** すぎはら ちゅん(杉原由美子)さん アニメーション作家・脚本家  
結城幸司さん 版画家、ミュージシャン、語り部、アイヌ文化活動アドバイザー

**内容** 結城さんの原作・原画により、すぎはらさんが制作(監督・脚本・アニメーションを担当)した全編アイヌ語のアニメーション映画「七五郎沢の狐」(2015年札幌国際短編映画祭上映作品選出)を鑑賞します。作品の紹介を通して、アイヌの歴史や文化、環境問題(函館市七五郎沢のゴミ問題)について、すぎはらさん、結城さんのお話しにより理解を深めます。まとめとして、持続可能な社会を実現してきた先住民(アイヌ民族)から学べること、無自覚・無関心が助長する差別や社会問題、日常の些細な言動が世界に影響していることなどについて語っていただきます。

**講師略歴** 杉原由美子さん。1973年神奈川県生まれ、横浜市在住。1995年よりフリーランスCGデザイナーとして映像、アニメーション制作に携わりながら、CG専門学校講師を務める。2005年、TVアニメーションシリーズ「創聖のアクエリオン」の設定制作。2014年より、すぎはらちゅん名で「ふるさと再生日本の昔ばなし」の脚本を担当、2015年より日本テレビPON「ママモコモてれび」、2016年よりAbemaTV「おしえてアベマくん」のアニメーションを制作している。

結城幸司さん。1964年釧路生まれ、札幌市在住。2000年よりアイヌ文化を現代的手法で表現するアイヌ・アート・プロジェクトを結成し、札幌を拠点にアイヌ文化継承に取り組んでいる。2008年、先住民族サミットアイヌモシリ2008の代表として11か国から24民族を招聘し、G8サミットに先住民族の立場から提言を行った。2011年12月には、ノーベル文学賞を受賞したフランスの小説家ジャン＝マリ・ギュスターヴ・ル・クレジオの招待により、ルーブル美術館で行われた「ルーブルの噂/世界の噂」にてストーリーテリングを披露した。

### 当日の動き

- 9:40 体育館集合完了
- 9:45 講演開始
- 10:45 講演終了予定  
質疑応答 謝辞
- 10:55 HRにて感想文記入
- 11:00 シンポジウム【約60分】 会議室(E S D推進委員会企画)